

子ども向けも 大人向けも

読りーむ in ちの 市図書館でおはなし会

子ども向け 3回目 過去最多の50人

読りーむ in ちのおはなし会実行委員会が第5土曜日に茅野市図書館で開催しているたのしいおはなし会。3回目の3月30日はこれまでで最多の約50人の親子が集まりました。

子どもを抱っこしてのふれあい遊びでスタート。親子参加型の大型絵本『もりのおふろ』では、動物が増えていくお話に合わせて背中をゴシゴシ、シュツシュツ、紙芝居『のーびた のびた』『ぱん ぽこ ぽん』では声を出し合い、にぎやかなおはなし会となりました。

同委員会として最後の開催で、大勢のメンバーが参加しました。次年度からは読りーむ in ちの全体で取り組んでいくこととなり、より活発で心を動かすような会になればと期待されています。



第5土曜日の子ども向けおはなし会

「大人だって楽しみたい」

要望に応え初の開催

第1回大人のためのたのしいおはなし会が11月16日、市図書館で開催し約20人が集まりました。60～80代の年配者の参加も。

これまで子ども向けのおはなし会は多く開いてきましたが、大人向けはありませんでした。読りーむ in ちの企画運営会議で、当時の図書館長から「年配者向けのものもあったらいい」との話があり、読りーむ in ちのおはなし会実行委員会が実施することになりました。



初の大人向けおはなし会

愉快的紙芝居『ねずみきょう』でスタート。方言語り『方言ずらか』は地元民と関西人で話が食い違う場面で笑いがこぼれ、リンゴを木箱に詰めて送る話には懐かしさを感じる。大型絵本『半日村』、手遊び「なっとう なっとう ねーばねば…」とプログラムが進み、最後の朗読『恩讐(おんしゅう)の彼方に』には静かに聴き入っていました。笑いあり、しみじみ聴く話あり。「次年度も開催してほしい」との声が聞かれました。

第17回茅野市小中高校生調べ学習コンクール

読りーむ in ちの賞に小澤夢音さん(泉野小)

2023(令和5)年度 第17回茅野市小中高校生調べ学習コンクール(市、市教育委員会、市校長会主催)で、読りーむ in ちの賞に泉野小5年(当時)小澤夢音さんの『ひいバーバの嫁入り道具を使ってみよう～復活した炭火アイロン～』が選ばれました。

11月7日、市役所で行った表彰式では、奥原貴美子読りーむ in ちの会長から賞状が授与されました。

応募は小学生の部が971作品(971人)、中学生の部344作品(344人)の計1,315作品(1,315人)。2人で1作品、1人で2作品の応募もありました。



ひいバーバ(曾祖母)の家で偶然見たカタツムリのような、船のようにも見える不思議な物体…なんだろうと思い、ひいバーバにたずねると「炭火アイロン」と教えてくれた。電源コードもスイッチもない。どうやって使うのだろうという疑問が浮かび、調べ始めた。実際に炭をおこして使ってみたら、とても重たいし、しわは伸びないし、大変だった。ひいば一ばの時代はこんな重い道具を使っていたことに驚いたそうです。

姉の小澤夢柚さんは小学2年生の夏休みに、亡くなった曾祖父とお盆について調べた『ひいおじいちゃんにあおう!大きくせん!!～大切なご先ごさまをむかえるために～』が第11回茅野市調べ学習コンクール読書の森 読りーむ in ちの賞を受賞しています。

今回お姉さんと同じ賞を受賞できてうれしいと言っていました。



読りーむ in ちの賞の授与



受賞の喜びを語る小沢夢音さん

茅野市小中高校生調べ学習コンクール



図書館振興財団主催の第27回図書館を使った調べる学習コンクールで最高位となる総務大臣賞に、茅野市小中高校生調べ学習コンクール(市、市教育委員会、市校長会主催)が選ばれました。表彰式が3月2日、東京・日暮里で行われ、山田利幸教育長ら3人に賞状が授与されました。

2007(平成19)年から開催している図書館を使った調べる学習コンクールは、茅野市小中高校生調べ学習コンクールの全国版。



博報文庫のリスト改訂

目次、利用規定など追加

博報文庫のリスト改訂版が11月発行しました。初版は2020(令和2)年。改訂は3年ぶり。

改訂したところは、▼目次と利用規定を追加▼追加購入した絵本とパネルシアターを「D 追加 購入 絵本・パネルシアター」として追加▼寄贈された大型絵本を「O 大型絵本」、紙芝居を「K かみしばい(寄贈)」として追加▼誤字、脱

字を修正。

A4判、30ページ。300部作成し関係者に配布。希望者は読りーむ in ちの事務局まで。



矢嶋浩行新事務局長

「成果に敬意 心してー」

茅野市職員異動（4月1日付）で着任した矢嶋浩行生涯学習課長・こども読書活動応援センター長は読りーむ in ちの新事務局長。観光関係が長く、教育委員会は初めてといいますが、玉川地区コミュニティセンター、パートナーシップのまちづくり推進課長などで公民協働事業の経験もあります。

「茅野市の読書活動はすごい。読りーむ in ちの20余年の成果は素晴らしく敬意を表します。心して携わらせていただきます」と抱負を語っています。

松本講師 「読み聞かせ手は 本 人に会う」

第2回読書ボランティア交流会

読み聞かせを交えた松本さんの講演



第2回読書ボランティア交流会（茅野市こども読書活動応援センター、読りーむ in ちの共催）が3月17日、ゆいわーく茅野で開催し、市内の読書ボランティアや学校司書など36人が参加しました。読書ボランティアのスキルアップと交流が目的で毎年2回開催。

今回は「読み聞かせボランティアと学校教育」と題して、県立こども病院院内保育所ぽかぽかえん元園長で絵本専門士、J P I C読書アドバイザーの松本美幸さんが講演。「読み聞かせボランティアが学校で活動する際の心構えとして大事なものは、与えられている時間を守ること。朝の10分間が読み聞かせの時間なら、時間内に

読み切れる本を選ぶ。先生と生徒たちは決められた時間で授業をしているのですから。ボランティアの読み聞かせ時間がオーバーした分がその後の授業に影響します。読み聞かせボランティアは無理せず、できることを楽しんでみましょう」など、読み聞かせボランティアの基本を丁寧に説明しました。

後半は玉川小学校読書ボランティアから、学校との情報交換について事例発表。「学期ごとに校長、教頭を交えて反省と読み聞かせした本の紹介などをし、共通認識を持つことを大切にしている」との発表がありました。思いを共感し合える充実した時間となりました。

最後に松本さんは「良い聞き手になりましょう。人の読み聞かせを聞くと、自分の発見になる。視野も広がる。よい聞き手は、よい本、よい人に会います」とまとめました。

参加者たちは「講演を聴き、子どもたちと先生方がいてこそボランティアという、本来の活動のことを考え直すきっかけになった。聞き手の立場になって、押し付けではなく、自分も楽しみながら読むことが大切だと知ることができた」など、今後の活動への意欲がうかがえる感想を話していました。



選書の悩みや読みの練習などの情報交換

絵本のたね 部会が発足

定例の部会 月1回日曜午前

読りーむ in ちのに4月から、新たに本について語る部会がスタートしました。名称は、絵本のたね。

小中学校で読み聞かせをしているメンバーを中心に、同じ活動をする仲間と結成。本を紹介し合ったり、読み聞かせについて情報交換をしたり。本と出会い本を広く深く知ることによって楽しく活動していくことを目指しています。読りーむ in ちのメンバー以外の参加歓迎、子ども連れでもOKです。

定例の部会は月1回日曜午前10時10分から11時45分まで茅野市図書館おはなしの部屋で。7月7日だけは会場が変わり、ゆいわーく茅野101で開きます。希望者は直接会場へ。

お知らせ

★図書館たのしいおはなし会
いつ 6月29日(土)

午前10時30分～11時

どこ 茅野市図書館

2階 おはなしの部屋

なに 紙芝居、読み聞かせ、手遊びなど

★読書ボランティア交流会

いつ 6月26日(水)

午前10時～11時30分

どこ ゆいわーく茅野 3階集会室

申し込み QRコードまたは



こども読書活動応援センター
電話 0266-75-1250へ

私の1冊

『はるとあき』

齊藤倫・うきまる 作
吉田尚令 絵
小学館



春夏秋冬、普遍的に季節は巡ります。それぞれの季節が、擬人化された登場人物。春が目覚めると、冬と季節を交代します。

季節が普遍的に巡るからこそ、はるとあきは絶対に会うことはできません。

手紙の交流により、はるとあきはお互いの情景を知り、それぞれの季節の美しさや、心の動きを感じていきます。

はるとあき、2人の心の交流から「大切なことは何なのか」「大切な人を思いやるとはどういうことなのか」を改めて思い起こされる、ちょっぴり切なく心温まる絵本です。

いつも、私の心近くにいてくれる友人に、思い重なる1冊として選びました。

竹内こずえ

一緒に活動しませんか

読りーむ in ちのメンバー募集中

あなたも読書活動に参加しませんかー。読書の森 読りーむ in ちのでは、一緒に活動するメンバーを募集しています。

茅野市と公民協働で「ことばとところを育てる読書活動」を合言葉に、乳幼児期からの継続的、継続的、発展的な読書活動に力を入れてきました。今年はスタートから25年目になります。

どんな活動をしている？ 出生届提出時と4か月健診時に赤ちゃんと家族に絵本を贈るファーストブックプレゼント事業、小学校に入学した子どもと家族に本を手渡すセカンドブックプレゼント事業、広報紙「読書の森 読りーむ in ちの」を編集・発行する広報事業。

そのほかにも保育園、認定こども園等での朝の絵本の時間の見学会、図書館や地域で開催するおはなし会、絵本や児童書に関する情報交換をする部会絵本のたね。ライフスタイルに合わせて無理なく一緒に読書の種まきをしましょう。いつからでも参加できます。申し込み、問い合わせは茅野市役所生涯学習課内読書の森 読りーむ in ちの事務局（電話0266-72-2101 内線635）へ。